

遍路のドキュメント制作へ

中国人女優ら松山市を表敬

中国・北京市の演劇大学「中国戯劇学院」が四国遍

路をテーマにしたドキュメント映像を制作することになり、制作に携わる同大教授で中国作家協会員の路海波さんと、京都市在住の中国人女優、キャンディー・ジャンさんが3日、松山市役所に岡本誠司副市長を表敬訪問した。映像は来春から、中国国内で上映やネット配信が行われる。

この事業は、国土交通省が訪日外国人の観光客誘致を目的に、平成20年度VJC（ビジット・ジャパン・キャンペーン）の一環として、委託を受けた四国4県の4銀行の社員らで組織するNPO法人「ループ88」が同大学などと連携して実施する。

制作は、来年2月から。同大学で映像制作を学ぶ学生が、映像制作に詳しいNPO法人「横浜アートプロジェクト」の協力で四国各地で撮影。約20分の映像に



岡本副市長に報告する路教授（右）とキャンディーさん
|| 松山市役所

編集し、同3月末には上映やネット配信などが予定されている。

岡本副市長が「中国の方々にも四国の良さを知っていただくいい機会。期待しています」と話すと、路教授は「心を癒やし鍛えるために旅に出るお遍路は、日本独特の精神文化。お接待は人間の普遍的な愛の姿だと思う。中国人だけでなく、世界が共感できるテーマで素晴らしい作品ができてほしい」と応えた。